(1921年)

Noticias do Brazil

2 de Setembro de 1921 No. 204

大正十年九月二日　金曜日　第二百四號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ..... 15$000
„ Semestre ..... 8$000
„ Mez ..... 1$500
„ Semana $500

農業者に一言

◇厄を變じて福と爲せ◇

伯國も今年は一般に不景氣難に苦しめる裡にも、殊に農業者が其苦痛を訴するの度激しい樣である、而して其原因は金融逼迫の爲め物價暴落にあるや勿論であるが、尙は其内幕に立入りて仔細に之を檢すれば、農業者は概して昨年の好景氣に煽られ無理な耕作法即ち一六勝負的賭博農業を行つたから、其處に種々な缺陷が生じて、遂に二進も三進も行ぬことになつたのが裏面の事情である樣である。

蓋し無理を爲すと云ふことは、如何なる事業に於ては避けねばならぬことであるが、就中土地に關係し、一旦放下した資本が早くて一農年、遲ければ數年を經ざれば儲となつて浮き上つて來ない農業に於ては、日本人の如く左樣躁つた所で到底好成績を擧げ得るものではないのみならず、無理を爲すに於ては益々失敗の深味に陷り、不幸本年の如く物價暴落の厄に遭はんか、到底再び立つ能はざるの創痍となるのであるから、此の點は吳れ〳〵も注意せねばならぬことである。

尤も無理を爲すと云ふことは獨に日本人丈ではなく、創業の際には何れの國人も得て無理をしたがるものではあるが、併し日本人の如く殆ど空手で農業を開始し、全然一農年の終りに於ける收穫に依賴して、其間借金政略で農場を經營する者に於ては、良くて僥倖、悪いのが普通と見ねばならぬので、其借金も年三割乃至六割の高利を拂ふの事實を耳にするに於ては、到底正氣の沙汰とは思ひ得ぬのである。

今年の農業者に對する打擊は、世界的不景氣の餘波であるから致方なしとは諦めの方法ではあるが、其根本には前述の如き一大缺陷が伏在しこれが禍を爲したことも掩ふべからざる事實であるから、日本人も之を覺らざる限りは、折角自作農を營んでも唯だ徒らに勞多くして利益之に伴はないと云ふことになる、仍て今年の失敗は單に物價暴落のみでないことに想ひを及ぼし、今後空手の事業企ては斷じて愼まねばならぬと共に、資本を有しての事業も成るべく控目にして、常に資金に二三分の餘裕を存せしむるを忘れてはならぬ。

夫に又今後の農業は、作りさへすれば何うかなるだらう主義では不可ぬ、常に新聞や雜誌に眼を注ぎ、列國の生產高、市場の相場を豫想し主作物は珈琲若くは甘蔗としても、副作物は何にするかを農年の始めに見極を付け、若し主作物の價が安ければ、副作物にて補ふと云ふ具合に謂ゆる複農法を取つて進まねば安全有利とは云ひ得ないから、伯國に於ける日本人の農業も今後大に組織的に改め、唯だ無定見に身體を過勞すると、頭腦を用ゐて時代に適合し、經濟に當嵌まる農業を行らねばならぬのである。

又生產物の品質に就ても、保存法に就ても、何等其點に工夫を凝すなく、唯だ從前有來りの儘で農場を經營し、產物を收穫するに於ては、愈々物品賣渡しの場合に一等品と思へる物が二等三等に下り、結局其處に何分かの安賣を爲さればならぬから今後は此の點に關しても日本人の品物には注意を加へて、日本人の品物には曾に見本と實物とに違ひがないのみならず、品質佳良で何れへ賣り込んでも決して買手から小言が來ないと云ふ信用を取るが最も必要なことである。

要するに今年に於ける農業者の打撃と失敗とは洵に同情に堪へぬものがあるが、今年の失敗は必ずしも永遠に回復のつかぬ失敗でもなく、寧ろ此の失敗は農業其者の内幕に無理と工夫を缺けるとの二大缺陷があつて、之が其效果を妨げたことが明瞭となつたのであるから、我農業者は茲に深く意を致して今後再び今年の轍を踏まない樣にするならば、是れ厄を變じて福となるものである。

●上シレシア問題

◇石井子主査を引受く◇

上シレシャ問題が聯盟最高協議會に於て英佛兩首相の不一致から終に聯盟實行協議會の裁決に俟つ事と成つた次第は先きに報道せる通りだが▲實行協議會に於ては英佛利害の衝突問題だけに問題の主査となり之に對し意見を立つる人を得るに困つた、西班牙は英と佛とに對し全く中立の立場にあるか故に同會長石井子爵は西班牙大使キノヲス、レオン氏をして此重任に當らしめんと交涉を試みたが同大使は固辭して應せず據所なく石井會長は▲自身主査となり其の裁決意見を協議會に提出する事になつて八月二十九日ゼネヴラに於て其第一會を開き、シレシャ問題裁決に關する聯盟最高協議會の委託引受を正式に決議し其趣きを直に最高協議會長佛首相ブリアン氏に電報した、日本は英の同盟國であると同時に石井子爵は日本の駐佛大使である石井子としては不可能とするも漸次改良を施して兎に角世間並の砂糖製造地とせねばならぬ。

氣候は亞熱帶、年中霜害はなく甘蔗は勿論容易と云ふてもよい性質のものじやないとしても必ずや全部の同業者が一致協同して種から販賣して金になる迄最善の研究と最善の努力とを盡くさば其目的を達し得る、最初より良く研究も積まず世間並に一度試みて失敗し駄目だと放つて仕舞ふ人は恐らく何をやつても失敗する人だらうと思ふ、失敗に失敗を重ね年老い精枯れて終ると苦心しても、見事完成するに於ては男子としての本懷之に過ぎずではないか。

前已に述べた通り私は斯業には全くの素人である、今日迄色々人の話は聞くが實驗した事は少しもない、然しながら素人の言も他山の石として一讀を得ば幸甚とする所である、一は小製造に巧者なる日本人である、交通も伯國としては決して不便の土地じやないし耕作施肥乃至交通等は吾人の努力により或る程度迄は改善し得る、世界何れの所にか少しも缺點のない砂糖產地があろう、皆缺點を人工によりて補ふて今日あるに至つたのである、如何に美田も人工を加へざれば遂に荒野と撰ぶなしである、即ち大體に於て有利なる位置を有する當地の將來を悲觀すべき理由は少しもないと確信するものである但だ必要とするは部分的改良である、即ち大體に於て有利なる位置を有する當地の將來を悲觀すべき理由は少しもないと確信するものである但だ必要とするは部分的改良である夫れも發見し難き缺點は改良するに骨折りであらうが、明々白々たる缺點を改むるは容易と云はねばならぬ勿論容易と云ふても朝飯前に改め得而して幸ひに誤謬を指摘さるゝを得ば私は更に大なる敬意を表するもの

●イグアペ植民地に於ける砂糖製造に就いて（一）

紫山生

イグアペ植民地に於ける甘蔗栽培及砂糖製造は自分の無經驗の爲め頗る危ぶんだ、而して色々經驗ある内外地じやないし耕作施肥乃至交通等は吾人の努力により或る程度迄は改善し得る、世界何れの所にか少しも缺點のない砂糖產地があろう、皆缺點を人工によりて補ふて今日あるに至つたのである、如何に美田も人工を加へざれば遂に荒野と撰ぶなしである、即ち大體に於て有利なる位置を有する當地の將來を悲觀すべき理由は少しもないと確信するものである但だ必要とするは部分的改良である夫れも發見し難き缺點は改良するに骨折りであらうが、明々白々たる缺點を改むるは容易と云はねばならぬ勿論容易と云ふても朝飯前に改め得而して幸ひに誤謬を指摘さるゝを得ば私は更に大なる敬意を表するもの

製本出來

ブラジル語講習錄 出版廣告

御待兼ねのブラジル語講習錄の製本が出來ました
本講習錄は初學者獨習の唯一無二の良書であります
本講習錄は伯語に邦字を用ひて發音と譯とを附し特に會話の部には實用向きの話澤山に載せました
附錄には日伯兩語の諸願、諸届書の雛形を網羅し又日伯兩語の藥名、使用及病名便覽を添へました
實價は一部拾ミルレース外に送料（書留料共）ミル
發送は今週から着金順に依り發送して居ります部數に限りありますから賣切れぬ内御注文を乞ふ

發賣所 伯剌西爾時報社
NOTICIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H S. PAULO

取次販賣所 瀨木商店
Y. SEGUI
CAIXA POSTAL, 1771, S. PAULO

▼▲東西南北▼▲

◆近頃米國へ賣つた飛行船ZR2號英人三十米人二十一を乘せ英國にて試驗飛行中ハル市上空で機關爆發◆アナヤと見る間に眞二つに折れ二團の火焰となりてハンバー川へ墜落生存者僅か五人損害實に二百萬磅◆建物を飛ばし木を植ゑにし多數の船舶を覆へし死者一萬人を出したる大旋風支那寧波地方に起りたり◆獨逸前大藏長官エルツベルゲル暗殺せらる彼は休戰條約の締結者又講和大使として巴里へ行きし人なり▲彼は講和主張の爲め黨て帝政派より惡まれ其暗殺は帝政派機關紙の氏に對する猛烈なる攻擊に基因すと◆獨逸社會黨及共產黨大に憤慨し帝政派の集會及其機關紙の言論に大干涉を加ふる事を決議し政府に迫る◆政府も亦エ氏の暗殺を帝政派の陰謀と見なし前帝一族及ルデンドルフ、ゴルツ等を國外に放逐せんとす◆一方帝政派は前皇子アイテル及ル、ゴ兩將軍を筆頭とし「グルンゾルドロ」共和制反對示威運動の催しあり◆露の饑饉疫病の慘狀には過激派を惡むも人も大に同情を寄せ各國之が救濟に盡力せるは人道上大慶之至也◆然るに英佛二國は救濟の交換條件として帝政時代の外債を承認せしめんとし過激派右二國の援助を拒絕◆米國銀行界の主腦モルガン獨逸賠償金公債發行引受に關し自身歐洲の大體視察の必要あり巴里に出張す◆米獨講和締結に付き開戰當時押收したる在米國獨逸人の財產は此際之を當人に返還すべしとの議論出づ◆處がルシタニア擊沈及遭難者遺族に對する損害賠償に關し獨逸未だ滿足を與へざる故政府反對を聲明す◆大仕掛の詐僞窃盜團北米シカゴに於て檢擧せらる銀行家商人株屋等の被害を合算せしに九百萬弗なりと◆レニン伊國より長距離飛行機二臺を買ひ込みて兼疑の的となる伊一流閣冷許して曰くレニンの逃支度也◆シチマ喜劇役者チャツプリン今度歐洲漫遊の途に上る彼は英國生れ赤貧米國に移住し今や數百萬弗の丸持長者となる又立志傳中の一人なり

◇今週の外電◇

▲印度の叛亂

印度マラバル地方の叛亂益々擴大し總督府は同地方五行政區に戒嚴令を施行したり

倫敦諸新聞は今回の叛亂が單に英國統治に對する反抗に非ずして、回々敎を奉せざる者に對する宗敎的暴動なりと論せり

▲支那と華盛頓會議

紐育州ヲーターターウンよりの電報に依れば、駐米支那公使は避暑の爲同地なるウイルソン政府國務長官ランシング氏邸に滯留中なるが、公使の目的は十一月の軍備制限會議に於てランシング氏を味方に引入れんとするに在り、巷間傳ふる處に依れば、ラ氏は多分支那の正式代表者として重大なる役を引受くべしと、支那公使の來遊は則ち該會議に於て執るべき方策の打合せの爲なりと觀測せらるゝと

▲聯盟會議と華府會議

ゼチヴア電報に曰く、近く當地に開催の筈なる聯盟會議は華盛頓會議の爲中止せらるべき形勢なり、聯盟會議が永久國際裁判所創設以外重要問題を議決するは不可能事に屬す、聯盟加入諸强國は華府會議の決定に先ち重大問題に就き論議するの無益を認め居れり、故に聯盟會議は開催せらるゝにしても豫定の三十日間を十五日に短縮せらるべし、從つて各國委員も著しく減少せられ、日英兩國の昨年の委員各八十名なりしに反し今年は僅に十二人となれり、北米の加入を容易ならしむる爲提議せらるべかりし修正案も、北米の國際聯盟不承認に依り無用となり了れりと

◇經濟欄◇

●伯國外債成立

聯邦政府が米國に於て募集すべく決定せる外債五千萬弗の殘額二千五百萬弗の公衆募集は八月二十九日紐育に於て發表せられし所、三時間にて全部募集濟となりたり

五月募集第一回分の發行價格は九七、二分の一なりしも、今回は之を九八、二分の一に改められ、他の條件は前同樣、年利八分、期限廿ケ年なり

第一回募債は昨今紐育市場に於て九九、二分の一乃至九九、八分の五の價格を有するが故新債券も自然同一の價格を有するに至るべく期待さるゝと觀測せられ、一般に好人氣を以て迎えられたり

●聯邦内債

經濟界の悲境は商工業に對する新稅の徵收を不可能にし聯邦政府の收入に一大缺陷を生ぜしめたるが、之を補はん爲の七分利内國債二億ミルレース發行に關する法律は愈々大統領の裁可を經て過日發布せられたり然れども本公債は時機を見て發行せらるべく發行時期は未定なりと

●戰前戰後船舶噸數比較

△二割七分五厘の增加

ロイドの船舶調査に由れば、一九二一年六月と一九一四年六月に於ける各國船舶現在噸數左の如し

	一九二四年六月	一九二一年六月	差
英國	一八、七〇〇、〇〇〇	一九、二八〇、〇〇〇	增 四一、〇〇〇
米國	三、四二〇、〇〇〇	三、三二四、〇〇〇	同 一〇七、〇〇〇
日本	一、九四三、〇〇〇	三、〇四三、〇〇〇	同 一、一三一、〇〇〇
佛國	一、九一八、〇〇〇	三、〇四八、〇〇〇	同 一、一三〇、〇〇〇
伊太利	一、四三八、〇〇〇	二、三九八、〇〇〇	同 九二〇、〇〇〇
威蘭	一、九三三、〇〇〇	二、三五二、〇〇〇	同 五三一、〇〇〇
和蘭	一、四七一、〇〇〇	二、三七二、〇〇〇	同 九〇一、〇〇〇
英殖民地	一、四四〇、〇〇〇	二、三四〇、〇〇〇	同 九〇〇、〇〇〇
西班牙	八五三、〇〇〇	一、九四三、〇〇〇	同 一、〇九〇、〇〇〇
瑞典	九五二、〇〇〇	一、九四二、〇〇〇	同 九九〇、〇〇〇
挪威	九三八、〇〇〇	一、九二六、〇〇〇	同 九八八、〇〇〇
丁抹	八六八、〇〇〇	一、八五六、〇〇〇	同 九八八、〇〇〇
獨逸	五、〇九八、〇〇〇	六四四、〇〇〇	減 四、四四四、〇〇〇
ギリシヤ	八三〇、〇〇〇	五六、〇〇〇	同 二四四、〇〇〇
埃太利	一、〇三二、〇〇〇	零	同
計	三二、一四四、〇〇〇	三三、七〇〇、〇〇〇	增 一、五五六、〇〇〇

獨逸、希臘、埃太利三國以外の國は、いづれも戰前よりも其噸數を增加し、增加數合計一千百七十萬噸にして、世界の海運機關は戰前よりも二割七分五厘增加したる譯なり

●世界の棉花產額

△來年は生產減少

米國政府市場局の發表する所に由れば、一九二〇―二一年度に於ける世界の棉花生產は一九、五九五、〇〇〇梱（一梱五〇〇封度）にして、則ち棉花の生產が戰前狀態（平均年產額二〇、〇〇〇、〇〇〇）梱に復歸せること を示せり

棉花の生產は戰爭中大いに減少し一九一九―二〇年度一七、九六四、〇〇〇梱、一九一八―一九年度一六、九六二、〇〇〇梱、一九一七―一八年度一六、七八六、〇〇〇梱なりき

而して消費の割合は戰爭中生產の月一の價格を有するに至るべく期待さるゝと觀測せられ、一般に好人氣を以て迎えられたり

前年度世界の持越現品五、八四六、〇〇〇梱に達し、當年度に於ては其量一層增加して一、〇〇〇、〇〇〇梱に達する見込なり

其結果、棉花の暴落を來し將來の棉作反別を縮少するに至りたるが、來年度の棉作は米國に於て二八ボルセント減、埃及に於て二六ボルセント減の豫想なり

●第二珈琲產地

コロンビア國の珈琲生產業は近來著るしく發達し將に伯國の一大競爭者とならんとする形勢なり

コロンビアの一九一一年に於ける珈琲輸出額は六〇六、〇〇〇袋なりしが、一九一八年には一、一〇六、〇〇〇袋に增加し、一九二〇年には更に進んで二、一〇〇、〇〇〇袋となりたり

同國目下の生產樹數は一五〇、〇〇〇、〇〇〇本、此外に新樹五〇、〇〇〇、〇〇〇本あり、而して珈琲耕地に對する投資金は八〇、〇〇〇、〇〇〇弗即ち約七二〇、〇〇〇、〇〇〇ミルレースなりと

一米人の計算に由ればコロンビアは五百萬袋乃至一千萬袋を生產し得べしと

昨年同國より米國に輸出せる珈琲は一、三八五、八〇〇袋なりき

●伊太利移民送金

八月二十九日羅馬に於て公表せられし伊太利移民局の報告に由れば、昨一九二〇年中在外伊太利人がナポリ銀行を通じて本國に送金せる高、合計九億八千百萬リラにして、内八億七千八百萬リラは米國より、二千八百萬リラは伯國より、三千四百萬リラは亞爾然丁より、送られたり尙ナポリ銀行は米國に於て最も廣く營業し、同國内支店の數頗る多し

●失業者問題

米國に於ては近來失業者數著るしく增加せるを以て、大統領ハーヂング氏は之に對する措置研究の爲め本月工業及勞働團體の代表者を華盛頓に招集し工業會議を開催する事に決したるが、同會議は商務長官フーヴア氏主となり勞働長官デビス氏之を助る等にて目下其會議開催準備中也

●物價表（昨日）

棉上（エンラーマ）	一アローバ	九、〇〇〇	同
同（エンカローソ）	一アローバ	九、〇〇〇	同
米（特等）	六〇キロ		同
同（最上等）	六〇キロ		同
同（上等）	六〇キロ		同
同（並等）	六〇キロ		同
モミ（特等）	六〇キロ		同
同（最上等）	六〇キロ		同
同（上等）	六〇キロ		同
砂糖（特等）	六〇キロ		同
同（一等）	六〇キロ		同
豚脂（聖州產）	六〇キロ	一四、〇〇〇	同
同（南リオ州產）	六〇キロ	一二〇、〇〇〇	同
マンヂオカ粉（亞國產）	五〇キロ	一四、〇〇〇	同
メリケン粉（内國產）	四四キロ	四二、〇〇〇	同
同（ムラチニオ、セツカ）上	六〇キロ	二五、〇〇〇	同
同（中）	六〇キロ		同
豆（ムラチニオ、アゲア）上	六〇キロ		同
同（中）	六〇キロ		同
豆（ブランコ）	六〇キロ		同
同（アマレリニオ）	六〇キロ		同
豆（アマレロ）	六〇キロ		同
同（アマレロン）	六〇キロ		同

●タコマ丸（便宜上被呼寄人）

縣	行先	來	氏名
沖繩	カンポグランデ	同	
同	呉屋ウシ	同	
同	與那嶺トク	同	
同	與那嶺清助	同	
同	新里カマド	同	
同	小波津仁和	同	
同	イタニヤエン	同	
同	野原ウシ	同	
同	島袋完法	同	
同	金城完孝	同	
同	上地松アンナヂアス	同	
同	喜納カナ	同	
同	山里智壽	同	
同	山里智茂	同	
同	後新門加那	同	
同	伊波與精	同	
同	嘉陽ウシ	同	
同	大城マツ	同	
同	玉城武富	同	
同	仲宗根朝元	同	
同	城間蒲瀨	同	
同	瑞慶村智榮	同	
和歌山	藤本長左衛門	？？	
沖繩	山内ヒデ	？？	

呼寄人は氏名及現住所至急通知ありたし

海外興業株式會社移民部

Caixa Postal, 1082 S. Paulo

生徒募集

本校は葡語、英語、佛語、簿記、速記術及タイプライターを敎授す、特に日本人の爲に前記各國語を懇切に敎授す、日下入學の時期なり各自學力相當の學級への入學を許す授業時間は午前八時より午後十時迄

Escola de Linguas
Rua Direita No. 8-A 2 andar
S. Paulo

開店廣告

今般上記の處に開店し日本人各位には特に廉價に新流行型男女服調製申上候

カザ、アロイゼ

CASA ALOISE
ALFAIATARIA
Rua Liberdade, 53
Telephone Central, 3844

御旅館

サントス市プラサ、デ、ジヨゼイボニフアシオ五一

平安名山戸

Praça José Bonifacio, 51
SANTOS

Garage Normal

Tel. Cidade, 56
Praça da Republica No. 43

貸自動車業

◆迅速、叮嚀、勉强

原村喜之助
林岩松
岩本秀雄
東美代平
川野一内
中村末熊

◆御引立を乞ふ

鍛冶職廣告

私儀鄕里にて鍛冶職營業大正二年渡伯後サントス港ドック會社工場に滿五ケ年勤續の處今般左記に獨立鍛冶職を開業誠實を旨とし農具其他一切の器具製作可仕候間何卒御用命の程願上候

サントス港　平田初太郎

H. Hirata
Caixa Postal, P. P. SANTOS

プロゼーシタダ三四街二三番エスタソン、ジユキアー際

●コロノ募集●

一、位置、ソロカバナ線シャバンテス及イバウスー兩驛より二里、チンブリー及イラベーに近きコンセッソン耕地

一、地味、氣候、水質等は申分なき程良好にして土地高燥なり

一、賃銀、新珈琲除草一千本に付百八十仟採實一袋に付八百レース

一、支拂、每月現金を以て支拂ひ買物の時の運搬賃は無料とす

一、視察、耕地視察御希望の家長には旅費を支給す

一、耕地、には既に就働せるコロノ多數あり、又フバー製造機煉瓦工場其他諸機械あり

一、珈琲樹、のフオルマードは結實良好手入簡易今年は特に多量の結實あり、又新珈琲植付あり

一、牧場、シケイロンは廣大にして餘作地亦充分なり

右の條件にて日本人コロノを募集す

御希望の方は左記へ御來談又は書面にて御照會有之度又直ちに視察御希望の方はシヤバンテス驛 HOTEL GRILLO へ御來車あらば耕地へ御案內可致候

Dario Gezar de Camargo
Administrador
Fazenda Conceição, Timbury
Linha Sorocabana

Dr. Alves Lima
Rua Direita No. 7, sala 33
São Paulo

◇廣　告◇

左記諸君の現住所御一報得度候

大熊長次　管沼末吉　五島菊市
戸田勘次郎　曾木盛一郎　井上浩平
河村未太郎　宮武勘六　竹田森次郎
中牟田榮太郎　野中重助　平楠太郎
木下辨吉

大正十年七月

海外興業株式會社伯國支店

Caixa Postal, 1082　S. Paulo

●伯剌西爾曠原の探險

米國　テヨドル、ルーズベルト著
日本　北島湖西子譯

第八章

疑の川（リオ、デ、ドユビター）十一

チエリーは先頭に余は後備にありて運搬の監視をなせり、ルイス、アントニオ、コレアは無事カノアを降せり次は例の大にして廣きカノアなりしが、牽引繩切れ遂に之を失ひ、ルイスも殆ど溺死せんとせり、カノアを失ふこと勿論大損害なるも、網及滑車を失ふことは非常の打撃たり、何となれば此二者なくしては大なるカノアを是れまで屢々經過したるが如き激流の沿岸たる小丘に引上ぐる事全く不可能なればなり、尙又カノアを新造する爲に、四日間もインヂヤ人侵襲の危險ある地點に費すが愚なるのみならず再び急流は將に近きにあるが故に此際造艇は吾人の足械なるべし、然れども四艘にては全部員と其荷物を搭載するに不足なり、今は只荷物を節減するにあり、然り大に節減せざるべからず、然れども既に十八日を經過し、食糧の三分の一を盡せるにも拘はらず距離百二十五キロメートルを過せしのみ、而して前路は其五倍か六七倍あるべし、加之も七十ヤードに達せざる急流に二週間を費せり、蓋し數ヤードの急流にしても、增水奔流し障碍物等ある時は實に危險なるを以て吾人の態度を決すべき晴雨計は即ち是なり、是に依りて近き蜜率を判定するは前途に於ける急流の數が過去の三四倍なるを想像するに足るべし、此地勢に於ては、食物として供給せらるゝ只一のものはバラシットなり、余等は四艘のカノアと人間一人を失へる上に、今や良射手たるインヂヤ蠻人の裡に在りて戰鬪準備を以て進まざるべからざるが故に中々困難なり、仍て安全の策としては是等の障碍を避け、可及的速力を早めて進むにあるなり。

最良の計畫は十三人川に沿ふて降りカノアは二艘づゝ一行と共に川に沿ふて降り、若し二三日にして尙急流たり、續ける後のカノアは先例に習ひ皆無事に通過せり

●種芋を選べ

……高價なるとしても夫れ丈の價値あり……

近頃北米では種薯を檢査することになつたので、其道の人々が薯耕作者らのみ種薯を收穫販賣するから成績の如何が好い道理である、勿論成績の如何にしても餘程選擇して上等なものかを收穫する危險が少ない、薯耕作者の最も警戒すべきは地下根に寄生して大害を與ふるチマトードと稱する害蟲である、此害蟲は其形體甚だ微小で肉眼では發見し難いが害する程度は恐るべく時には八割の減收となる一度畑に

▲浸入したら最後何年でも薯を害するから穀類等被害なき作物を耕作せねばならない、新しく種薯を他から購入する時には賣る方も買ふ人も共に知らずに取引する危險がある、檢査を受けた薯は專門家が調べて此種害蟲の寄生なきを確かめて始めて販賣を許可するから安心である、近年薯病害研究の結果

▲新病害を數種發見した其内加州で最も多く蔓延して大害を與ふるはカーリー、ドワーフ病と稱しポテートの幼弱なる時期に葉莖の發達を甚だしく妨害する、徵候は葉が萎縮し皺澤山の不自然な狀態を呈し收穫が甚だ少量となり云ふに足らない、病原と豫防法については未だ餘り多く知られてない、然し

▲傳染は種薯を通じて行はれる事實丈けは今迄の經驗に依つて判明した普通農家は此等の事柄に暗く病害に罹つた株から迄も種薯を集め病害を益々傳播せめつゝあるサーテフアイド、シードは大體此種病害系統ある薯を除いたものである。

▲一見し たのみでは果して多産のを選べるや否や判斷し得ないが、如何なる劣等な薯にせよ一つや二つは形と太さの好ましい薯を生産するから夫等を集めてサツコに入れて種薯として賣られても購買者はよさそうな種薯と思ふて買ひ栽培して不結果に驚く場合などが多い、檢査濟みの薯は全部

▲優良多産であると保證は出來ぬにしても餘程選擇して上等なものかのみ種薯を收穫販賣するから成績の如何が好い道理である、勿論成績の如何にしても餘程選擇して上等であつても耕作者が如何に上等であつても耕作すれば檢査が通らないから栽培して變種を收穫する危險が少ない、薯耕作者の最も警戒すべきは地下根に寄生して大害を與ふるチマトードと稱する害蟲である、此害蟲は其形體甚だ微小で肉眼では發見し難いが害する程度は恐るべく時には八割の減收となる一度畑に

▲浸入したら最後何年でも薯を害するから穀類等被害なき作物を耕作せねばならない、新しく種薯を他から購入する時には賣る方も買ふ人も共に知らずに取引する危險がある、檢査を受けた薯は專門家が調べて此種害蟲の寄生なきを確かめて始めて販賣を許可するから安心である、近年薯病害研究の結果

▲新病害を數種發見した其内加州で最も多く蔓延して大害を與ふるはカーリー、ドワーフ病と稱しポテートの幼弱なる時期に葉莖の發達を甚だしく妨害する、徵候は葉が萎縮し皺澤山の不自然な狀態を呈し收穫が甚だ少量となり云ふに足らない、病原と豫防法については未だ餘り多く知られてない、然し

▲傳染は種薯を通じて行はれる事實丈けは今迄の經驗に依つて判明した普通農家は此等の事柄に暗く病害に罹つた株から迄も種薯を集め病害を益々傳播せめつゝあるサーテフアイド、シードは大體此種病害系統ある薯を除いたものである。

▲消毒藥 劑即ちフォーマルデハイド稀薄溶液又はコロシブナブ、サブリメートにて殺菌し得るから特に高價の檢査種薯を購入して栽培するの必要がない』と自說を主張して居るが、然り馬齡薯の病害は單に以上二種に限られ、他には何等害蟲が種薯から傳播繁殖する危險がないものとするならば、或は以上の如き議論も立つかも知らぬが併し

▲薯の病 蟲害は以上二種に限らない種薯からは大體品質良好なる薯が多量に生產せられる事實がある、家畜の系統を嚴格に調査するは久しき以前から實行せられた所であるが近來は果樹繁殖にも廣く利用せらるゝカーに至つた同じ理屈の通りである筈の野菜には如何なる理由か近來迄

▲此方面 の研究實行が廣く行はれなかつた、然し目醒めた野菜耕作者は種子系統が生產に大影響を及ぼすものなるを適切に感じ覺醒した農家は自から作物改良を實行する時代となつた是は敢てポテート耕作者に必要なりと云ふのではなく何種野菜に限らず實行すべき有利の仕事である種薯を

▲一見し たのみでは果して多産のを選べるや否や判斷し得ないが、如何なる劣等な薯にせよ一つや二つは形と太さの好ましい薯を生產するから夫等を集めてサツコに入れて種薯として賣られても購買者はよさそうな種薯と思ふて買ひ栽培して不結果に驚く場合などが多い、檢査濟みの薯は全部

▲優良多產であると保證は出來ぬにしても餘程選擇して上等なものかのみ種薯を收穫販賣するから成績の如何が好い道理である、勿論成績の如何にしても餘程選擇して上等であつても耕作者が如何に上等であつても耕作すれば檢査が通らないから栽培して變種を收穫する危險が少ない、薯耕作者の最も警戒すべきは地下根に寄生して大害を與ふるチマトードと稱する害蟲である、此害蟲は其形體甚だ微小で肉眼では發見し難いが害する程度は恐るべく時には八割の減收となる一度畑に

▲浸入したら最後何年でも薯を害するから穀類等被害なき作物を耕作せねばならない、新しく種薯を他から購入する時には賣る方も買ふ人も共に知らずに取引する危險がある、檢査を受けた薯は專門家が調べて此種害蟲の寄生なきを確かめて始めて販賣を許可するから安心である、近年薯病害研究の結果

▲新病害を數種發見した其内加州で最も多く蔓延して大害を與ふるはカーリー、ドワーフ病と稱しポテートの幼弱なる時期に葉莖の發達を甚だしく妨害する、徵候は葉が萎縮し皺澤山の不自然な狀態を呈し收穫が甚だ少量となり云ふに足らない、病原と豫防法については未だ餘り多く知られてない、然し

▲傳染は種薯を通じて行はれる事實丈けは今迄の經驗に依つて判明した普通農家は此等の事柄に暗く病害に罹つた株から迄も種薯を集め病害を益々傳播せめつゝあるサーテフアイド、シードは大體此種病害系統ある薯を除いたものである。

送金者注意

購讀料其他を御送金下さる時は成るべく郵便爲替（Vale Postal）か或は現金封入郵便（Registro com valor）にして鐵道便送金をなさゞる樣に願ひます、鐵道便送金にすると大抵通知書が一日遲れになつて倉敷料（Armazenagem）を取られますから

又現金封入郵便の場合は必ず手紙を同封するか又は封筒に橫文字或は日本文字で住所姓名を記入して下さい

料金送附其他本社への手紙の宛名には決して個人宛にしないで左の通り御記入を願ひます

NOTICIAS DO BRAZIL
Caixa Postal, H
S. PAULO

伯剌西爾時報社

廣告

私儀今般左記の場所に移轉旅館及大工指物業營業開始致候間倍舊の御引立奉希候

アラ、クワラ線カタンヅーバ市ルア、マラニオン角（元郵便局跡）

中國旅館
旅館兼大工指物業　野島兵太郎
郵函九番

州農務局認可
消毒 棉種子 發賣
Pereira Ignacio & Co.
Rua S. Bento, 47, S. Paulo
日本文御注文は左記へ願ひます
笹原憲次
Caixa Postal, 1850, S. Paulo

日本人諸君に對しては特に懇切に一切の法律事務の御相談に應じます

辯護士 ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルース
事務所 總領事館同建物四階十四號室
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
Largo da Sé No. 3, 3º andar
Sala 14 S. Paulo

左記（移轉仕擧間倍舊の御愛顧希上候

佐々木洋服店
コンデ、サルゼーダス街五一番

成功館

Largo 7 de Setembro, 15
SANTOS

謹啓各位益々御清榮之段慶賀至極に奉存候陳者弊館開店後既に滿二ケ年を經過し日に月に繁榮に赴き候事偏に各位御眷顧の賜と深く感謝仕候就ては日頃の御愛顧の萬一に酬いん爲今回左の業務を以て開始輕少の手數料を以て御便利相圖り申候間何卒倍舊の御引立伏して御願申上候

カルボン（木炭）
農產物各種委托販賣

尙カルボン販賣に就ては一ケ月二千俵以上消費の得意先と既に特約致居候へば生產者諸君には此上なき御便利と奉存候

成功館主　古謝將義　謹白

御待兼の
葡和辭典

到着しました、今度は紙價騰貴と伯貨下落の關係で、左の價格で發賣する事にしましたから、品切にならぬ中早く御求め下さい。

一册實價十二ミルレース

外ニ送料（郵便鐵道共）一ミルレース

御送金は必ずコンバロールか郵便爲替で、宛名は左の通り願ひます。

NOTICIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H
S. PAULO

伯國醬油製造界元祖

神 印 最上醬油

サントス港
釀造元 神田榮太郎

Caixa Postal, 282
SANTOS

農界資料

●澱粉の製造（一）

澱粉は馬鈴薯、甘藷、かたくり、玉蜀黍よりも製せられて範圍は頗る廣いが、以下順次別々に說き示す。

◇馬鈴薯澱粉

今日日本で乾物屋より澱粉として買へば必ず此馬鈴薯澱粉に限る程に供給も多く又需要も大きいのであるこれは原料も容易に且つは安く得られ、其の澱粉の製造法も簡單にて家庭的副業として適當でもあるからである、尤も動力による大工場を設けるも可なれどここゝには自家用若くは小規模の製粉法を紹介する。

まづ家庭に於て自家用か又は副業として簡單に製造する方法から說明しよう。

道具としては山葵擦子と麻製の袋を用意する馬鈴薯を水洗ひして之を山葵擦子にて磨り下し、それを麻袋に入れて搾りとる、受け器は淺く廣き物が良い、重き石などにて强く壓搾してとることが肝心である、袋の中には粕が殘りて水にとけた澱粉は其儘濾しとられるのである、此澱粉水は水を張りてかきまぜて後放置し、上澄みを除き二三回くり返し澱粉が純白の美しき沈澱となつたるときに、日光にて水分を蒸發させると澱粉が固まりて殘る、之をよくくだいて粉となし、箱、袋などに入れて貯へ置き隨時用に供する。

◇小規模の器械製粉

用意すべき器械道具類は薯磨機、濾過槽、金篩、絹篩、沈澱槽、乾燥箱等である、薯磨機は上方に薯の入るべき漏斗狀の箱がありそれに續いて無數の目を立てた鐵板を張つた圓筒があり、そしてこの心軸に小齒車があり、更に他の軸の大齒車と交り堅固な臺にとりつけられて居る、そこで上方の薯入れ箱に薯を投入し、附着せる柄をとりて大齒車を回轉すると小齒車は急速に回轉しつゝ薯が圓筒內に入り其目に觸れて削りとられドロ〳〵の汁となつて、器械の一端より流れ出でゝ、受器に注入る、それよりこの濃き汁を濾過槽にかけて水のない事は勿論である。

甚だしと云ふべし。去りながら之れ吾生命にして、これなくば吾れなくこれを絕たば即ち死せむ。人は運命を司配す、然れ共運命亦人を司配すると云ふ諺は外國人智は明かにしてよく眞理を解す、智ある人は之れを迷信と思ひ、無き者は自己を見すして之れに依る。地を離れて生命なく、又何物もなき事は人よく知れ共、何が爲めに無となるべきかを知らず、宗敎家ならぬ吾如き恐怖悲哀不可解は、吾れをして信仰の門を叩かしめき。

吾れ到所に認められむ事のみを希へる人の多きを見る、或人は己れの智を或は技を學を、或は力量を又は働きを、容貌を資を境遇を、或人は時か時ならむと云ひ、或人は此乃公がと云ふ、かゝる人々の多くは何等中心なく根底なき爲めに、認められゝ時増長し、或は慢心す、若し認められざれば弱きは世を厭ひ、强きはすねて者となりて世を禍ひする事甚だし、認められずとするは同情を得むと爲る意なり、他に依りて生きむとし自己の力を無視する者なり、己れを蔑

●信用は幸福なり

重永春月

吾等青年の將來に對し修養は最も肝要なり古人曰く、玉磨かざれば光無し人學ばざれば智無しと、人生は僅か五十年の短命と雖も名譽は末代の寶物なり、如何に寶の山を持ち錦衣玉樓に住ふ共、一分の信用無き者より無錢無資の者であれ、相當の自覺心あり、亦實力あり、今日世の萬人の中に交はり、自分の思想を發表し猶ほ世の人より尊敬され、眞なる信用を受け得れば例令今日生活難に陷り如何に貧困の境に居るもその苦を感せず、寧ろ內心云ひ知れぬ愉快を覺ゆべし、信用は一生の幸福なり、余の鄕里の一商店は開店後の一兩年相當の繁昌を來せしも程なく商賣甚だ振はず聞く所に據れば先祖の代に惡盜人を出したるが世間の信用を博し得ぬ原因なりと、先祖が惡人でも此の如し、況んや現に惡黨を働きたるものをや然らば人苟くも大望を起し立身出世を遂げんとならば須らく信用を重んじ約束を違へず飽迄も實行を守ると云ふ事を片時も忘る可からざるなり

●澱粉の製造（二）

澱粉を充分に水洗ひして之を麻袋に入れて搾りとる、受け器は淺く廣き物が良い、重き石などにて强く壓搾してとることが肝心である、袋の中には粕が殘りて水にとけた澱粉は其儘濾しとられるのである、此澱粉水は水を張りてかきまぜて後放置し、上澄みを除き二三回くり返し澱粉が純白の美しき沈澱となつたるときに、日光にて水分を蒸發させると澱粉が固まりて殘る、之をよくくだいて粉となし、箱、袋などに入れて貯へ置き隨時用に供する。

◇小規模の器械製粉

用意すべき器械道具類は薯磨機、濾過槽、金篩、絹篩、沈澱槽、乾燥箱等である、薯磨機は上方に薯の入るべき漏斗狀の箱がありそれに續いて無數の目を立てた鐵板を張つた圓筒があり、そしてこの心軸に小齒車があり、更に他の軸の大齒車と交り堅固な臺にとりつけられて居る、そこで上方の薯入れ箱に薯を投入し、附着せる柄をとりて大齒車を回轉すると小齒車は急速に回轉しつゝ薯が圓筒內に入り其目に觸れて削りとられドロ〳〵の汁となつて、器械の一端より流れ出でゝ、受器に注入る、それよりこの濃き汁を濾過槽にかけて水のない事は勿論である。

尙薯の洗ひ方は一々手にて洗うては極めて面倒で不經濟であるゆゑ、薯を槽に入れて水を注ぎ、二本の棒を叉形に束ね之を以て攪拌して洗ふ又流水の便ある處ならば、薯洗ひ箱を橫に架して流水中に置き、水の力にて回轉しつゝ薯がひとりでに洗はるゝ樣に仕掛けるのである。

尙薯磨機は日本では輕便磨碎機等がある、又は淺川式薯磨機等がある。

●吾人の進路（下）

河島仁三

各職業は社會の分業であつて少なくも是が眞面目と認められて居る時は其の何れを問はず其の意義に於て、いさゝかの尊卑もない筈である。然るに世には往々實業家を以て金錢の奴隸の如く考へ極貧を以て人生の極美となし、仙人を以て君子の如く尊長するものがある腕力乃至は武力を以て事を構成解決し得た往時は知らず、科學の進歩其の絕頂に達せる現今の社會に於ては何事を成すにも金力が伴はなければ到底其の實現は望み得ないのである、吾人の眼より見た仙人は畢竟禽獸と撰ぶ所がない、何となれば彼等は社會と絕緣して何等是に貢獻する所がないからである若し彼等にしていさゝかたりとも社會の生產物を消費せんか寧ろ害蟲と其價値を等しくせんのみである。

又自己を中心として何等周圍に顧慮する所なく滔々として己が欲望を滿すべく盲進する輩も少くない所謂我田引水主義即ち利己主義が之であれとても何事をか爲し度と思はざるにはあらね共、力の不及ざるを如何爲む。然るに吾望みは社會てふ大敵

●煩悶と信仰（一）

峯白

眞に力あるものなれば有形無形を論せず、何事にても爲し得る人ならざるべからず、然るに吾れ物心のつきてより此方撓む事こそあれ心に答めざる程に働きしが、二十七歲の今日未だ何事をも爲さず、又何物をも得ず、人心を五十年と爲せば早半ばは越へたり、吾れよりおくれて來りし人の中にも、又年若き人の中にも有福の人あり、地位ある人あり、而して益々社會に歩を進めつゝあり。然るに吾れは如何。十年一日の如く最下級に位す、貧勞働者ならず哉、吾れとても何事をか爲し度と思はざるにはあらね共、力の不及ざるを如何爲む。然るに吾望みは社會てふ大敵だ振はず聞く所に據れば先祖の代に

●信用は幸福なり

重永春月

吾等青年の將來に對し修養は最も肝要なり古人曰く、玉磨かざれば光無し人學ばざれば智無しと、人生は僅か五十年の短命と雖も名譽は末代の寶物なり、如何に寶の山を持ち錦衣玉樓に住ふ共、一分の信用無き者より無錢無資の者であれ、相當の自覺心あり、亦實力あり、今日世の萬人の中に交はり、自分の思想を發表し猶ほ世の人より尊敬され、眞なる信用を受け得れば例令今日生活難に陷り如何に貧困の境に居るもその苦を感せず、寧ろ內心云ひ知れぬ愉快を覺ゆべし、信用は一生の幸福なり、余の鄕里の一商店は開店後の一兩年相當の繁昌を來せしも程なく商賣甚だ振はず聞く所に據れば先祖の代に

旅館

和洋御料理一切

ボニータ街一一番

上地彌藏

郵函　一二二五

電話セントラル　五七〇一

社告

左記の處に支部及び取次所がありますから購讀申込料金拂込、其他の事に就いて便宜最寄の處へ御照會を願ひます

◆モヂヤナ線コンキスタ驛

◆ノロエステ線エイトル、レグルー驛上塚殖民地　福川薩然

◆同線ピリグイ驛ピリグイ土地木材殖民會社　鈴木季造

◆同線アルブケルケ、リンス驛　宮崎八郎

◆海外興業會社伯國支店リベロン、プレト出張所　森部一衛

◆ノロエステ線プレジデンテ、ベンナ驛　坂元靖

◆サントス市ラルゴ、セテ、デセテンブロ一五番成功館　古庄常喜

サントス支部　古謝將義

◆ソロカバナ線セルケラ、セザル驛　岡島仁郎

セルケラセーザル支部　伯刺西爾時報社

謹啓各位益々御淸祥奉賀候陳者本店業務擴張左の通り營業仕候間倍舊の御引立伏而願上候

一、ベビーダス、食料品

一、日本品、小間物、化粧品

一、藥品其他

一、神田醬油

一、農產物依托販賣

岡島仁郎

Caixa Postal, 14

Est. Cerqueira Cezar

L. Sorocabana

聖波羅土地材木殖民會社

◆當社は水質良好、氣候溫和にして珈琲其の他の全作物に適する肥沃なる絕好殖民地ピリグイ。エイトール、レグルーの土地を廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す

◆當社は既に千八百家族の各國人を有し、其中四百家族の日本人植民し且道路四通八達し兒童敎育機關及日本醫院の設備等あり

◆尙詳細は左記宛御照會ありたし

ピリグイ代理人　宮崎八郎

Est. Birigüy　L. NOROESTE

Empreza de Terra e Colonização Costina

Dr. Labieno da Costa Machado

Rua B. Itapetininga, 13-A, S. Paulo

ガルサ殖民地

ノロエステ線プレジデンテアルベス驛

ガルサ市街地

を賣り始めましたから企望者は至急御申込ありたし

ピラポジニヨ殖民地

ソロカバナ線サントアナシタシオ驛

明細書御希望の方は御通知次第送呈します

コスチナ土地殖民會社

代理人　矢崎節夫

Caixa Postal, 295 S. Paulo

FUJISAKI & COMP.

日本品各種

東京本店　赤坂區溜池町卅三

本店　リオ、デ、ジヤネイロ

支店　ベルナンブーコ

藤崎商會

サン、パウロ支店

Rua S. Bento No. 68-A

Tel. Cent. 2786—Caixa, 344

S. PAULO

リオ支店

Rua Candelaria, 90

Caixa Postal, 1246

Rio de Janeiro

日本貿易株式會社

聖市出張所

Rua Quintino Bocayuva, 80

Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449

São Paulo

●一切を自由に

小學教育の新しい試み

▲西村伊作氏の文化學院、羽仁もと子女史の自由學院と云つた樣な學校が今年になつて東京には續いて現はれて來た。兎に角も鑄型にはまつた今迄の教育では行けないとの考へが一般に強くなつたのは爭はれない。

▲斯樣に所謂劃一教育に飽足らないで、從前から既に小學教育に新しい教育法を試みて居るのでは、東京には中村學士の成溪學校、今一つは澤柳博士の成城學校がある。成城學校は博士が校長とは云ふものゝ實は鰐阪文學士が內外を一手に引受けて處理して居るのである。

▲試みに成城學校の模樣を書いてみやう。先づ子供が先生の鰐阪氏に對する態度である。遊びの時間に氏が庭に出る、大勢の子供は一時に先生先生と集つて來る、帽子を取る、上衣をはぐ、ぶつ、たゝく大變な騒動で、その樣實際親か兄に對する態度である

▲騒動はそんな事位では濟まぬ、ボール投げで窓硝子を壞はす位は朝食前で、机の上を靴穿きの儘歩き廻ると云つた樣なヤンチャ振り、それでも先生達は叱る所かにこ〳〵として子供は怒るものではないと平氣で濟まして居る。

▲授業時間は三十分か四十分か天候などに應じて定つて居ない、だが始まりの鐘がなると、この腕白連は別人の樣におとなしくなるから不思議だ。算術の時間だと先生は問題はどこから何頁と云つてさつさと出て行く、先生が居なくたつて一生懸命にやつて居るから面白い。

▲そして頭に應じて五十題やる者もあるし百題或は百二十題やる者もある。こんな手合だから進む者はすん〳〵進んで一年の間二度位級を飛び超す者も少くない。

▲一體にこんな教育法だから圖書の教育などは全然自由書を學ばして初年級から決して手本など用ひた事はない。自由に描くまゝに描かしておけば自分の見た自然なり靜物なりは勝手に描く、描けと態々命じなくともほつておけばきつと何か描く。

▲無論題を命ずる樣な事もしないし鉛筆で書かうが、水彩にしようが油繪にしやうとも夫も勝手である。水彩畫や油繪の描き方など教へなくとも自分々々に道を拓いて行くさうである。先生がなまじい教へる所が、その純眞な創作には先生が却つて教へられる云つて居る。

▲かうした樣な譯で子供達は自由の樂園として喜んで來る遠くは八王子などの田舍から來るのは珍らしい方でなく藤澤や鎌倉の遠方から通學する生徒さへある。その上一級は僅か廿二三人位しか收容しない方針で月謝は馬鹿に高く月十圓計りださうな

▲■む伽噺■▼

●かわづの夢（上）

中澤靜雄

ある夏の晩のことでした。蓮池に住んでゐる、青蛙のピョン吉は、蓮の葉の上で、一人で涼んで居りました。

何處からとなく、涼しい風が、池の上を吹いてまゐります。その度に、ピョン吉の涼んでゐる蓮の葉をブランコのやうに動かしました。

『あゝこれは素的〳〵、まるでブランコにでも乘つてゐるやうだ』

ピョン吉はかう獨りごとを云ひ乍ら一人でよろこんで居りました。

空には、銀の砂をまいたやうに、美しい星が澤山に輝いて居ります。ピョン吉は頭に眼が付いて居ますから座つてゐても、よく星が見えました。

ピョン吉は、蓮の葉のブランコに乘つて、涼しい風に吹かれながら、空の星を眺めて居りましたが、急に何だか『あの星の世界に行つて見たらどんなに面白いだらう』と云ふ氣になりました。ピョン吉はそんなことを考へてゐる中に、何時かいゝ氣持ちになつて、うと〳〵と居眠りを初めました、と、何處かで、

『ピョン吉さん、ピョン吉さん』

と、呼ぶ者があります。ピョン吉はふと四邊りを見ますと、自分の傍にいつか、紫の美しい着物を着た女の子が立つて居るのです。ピョン吉は思はず頭をピョコンと下げて、

『今、私をお呼びになつたのはあなたで御座いますか？』と問ひました。

『え、さうよ。あなたが星の世界を見たいと云ひますから、私がわざわざお迎ひに來たのです。』とその女の子は云ひました。

『えッ、私を星の世界へ？』と、ピョン吉は一時は驚きましたが、それがほんとだと知れると、もうすつかりよろこんで終ひました。

『さあピョン吉さん、そんなにキョロ〳〵してゐないで、これへ早くお乘りなさい』

見ると、女の子が、袂から風船のやうなものを出しました。ピョン吉はこわ〳〵それへ女の子と二人で乘つたかと思ふと、もう何時か星の世界へ來てゐるのでした。

星の世界で、先づ第一にピョン吉を驚かしたのは、大きな御殿でした。それは全部立派な水晶で出來てゐました。

●寢衣（上）

小松多八

お小夜君

——と呼び掛けて見たものゝ、お小夜君ではどうもしつくりあんたに對する氣持になれない、矢つ張り呼び慣れたさアちやんにして置かう。そこで改めて

さアちやん

品川の停車場であんたと分れてから既う四年になる。早いもんだ。『東京驛へはお父さんや親戚の者が來るから品川へ來て頂戴なね』で、私は態々品川驛まで見送りに行つたのだつた。神戸直行の汽車がゴーとはねつて來た時私はかなりあわてゝ居た。二等車に乘つて居ることゝばかり思ふて二等車の窓ばかり氣を付けて居ると、意外にもあんたは長い列車のズンと先方の赤汽車の窓から手招ぎして居る。私はあの時、プラットホームの堅いたゝきの上を駈け乍ら、高いほう齒のあしだ穿きをどれほど悔んだことやら。

何を話したか、二言三言話すうちに汽車は動き出して、ホンに本意ない別れをしたが、それでも走つて行く汽車の後影を見送り乍ら、會へてよかつたとホッとしたのだつた。

あれから四度ごほ手紙を呉れたつけね、けれど私はたうとう一度も返事を書かなかつた、私の返事を出さなかつた心持はあんたには充分分つてゐやうと思ふ、その後も日本に居る間は妹を通じてあんたの事は能く承知して居た。實はこちらへ來る時は切めて葉書でもと思つたが、それも考へ直して止めた、その私の心持も合點が行く筈だ。

●監獄部屋（四）

北海哀話

三友生

ちら付き初めた灯影が段々に遠くなつて行くのが、もう人間の里の見納めのやうな氣がして胸が塞がつて來た。

奴等はこの百二十五人をごうしようと言ふのであらうか、二人は何の爲に逃げたのであらうか。誰かに行先を聞き出して急に怖ろしくなつたのではあるまいか。監督達の身成を見ても大して金があり相にも思へない、若しかすると何所かに我々を賣飛ばす算段ではあるまいか。それにしても女ならば兎に角、この薄汚い野郎共を賣つたからが、船賃を出して遠くへ拉れて行く程の値が出やうとは思へない。『一匹百兩からの代物だ』と言ひやがつた。生膽を拔いて見た所で百兩には賣れない。一體からどうする氣であらう。德さんはヤキモキと腹の中で苦んで居た。

『おい』と不意に後から肩を叩いたものがある。驚いて振り返へると昨夜から顏馴染の他の團體の男であつた四十格構の人の好さそうな勞働者で小薩張した厚司を羽織つて居た。

『此方へ來な、遊ばう』と彼は小さな聲で囁いた。德さんは誘はれるまゝに艙の方へ其の男の跡を追つた。ズックを卷上げてある日覆用の梁には硝子玉を岩疊に綠金でからめた薄暗いランプが一つ點つて居る。二人は舵頭を蔽ふ格子の腰掛けに尻を拔えた。そこには將棋の箱と盆とが置いてあつた。

『暗れいな……駒は見えるだらう』

『あんたはん、御存じどすか』

『知つて……るさあ、角が成るせ。

『あんたはんは行かねえな、生命は一つしきやねえからな』

德さんは大きな目を剝いた。

『何所ごすしやろ』

『それを數へてやらうと思つて、ここへ呼んだんだ』

『あんたはん、御存じどすか』

『知つて……るさあ、角が成るせ。

德さんも同じやうに財布から出した銅貨を其の側に積んだ。

『將棋はどうでも好いが……お前は行先を知つてるのかい』と男は駒を並べながら德さんに小聲で尋ねた。

『それは知りまへんのどつせ』德さんは手を留めて顏を突出した。

『さうだらう、騙されて來たに違えねえ、お前ちの行く所ぢやねえやな』

『あんたはんもお行やすのどすか』

『あんたはんは行かねえな、生命は一つしきやねえからな』

德さんは大きな目を剝いた。

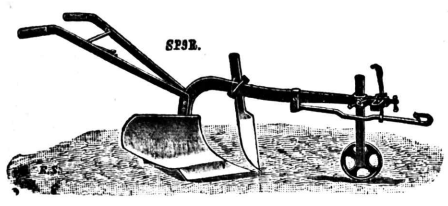
『何所ごすしやろ』

『それを數へてやらうと思つて、ここへ呼んだんだ』

『あんたはん、御存じどすか』

『知つて……るさあ、角が成るせ。

德さんも同じやうに財布から出した銅貨を五六枚出して重ねた。德さんは其の側に積んだ。



聖市キタンダ街十番
ブロンベルグ商會
BROMBERG & CIA.
Rua Quitanda No. 10
Caixa Postal, 756, S. PAULO

獨逸製幷米國製アラード及附屬品、犁、製粉機、穀皮離脫機、其他一切の農具幷石油發動機、牛馬牽引發動機等安價にて堅牢なる品多量到着致候間御用命伏して希上候

尙詳細は左記へ御照會被下度日本文ならば時報社宛に願上候

Montenegro Yahrmann & Co. Ltd.
Escriptorio
Rua Cidade de Toledo, 12　Caixa Postal, 220
Machina e Armazem
Rua General Camara, 499
SANTOS

精米所
今般機械全部の修理を施し特に廻轉臼は米の粉碎を防ぐため金剛砂層を取換へたれば一層の好果あるべし
日本人諸君の爲に日本人精米係りを二人常雇しあれば便利此上なし
照會其他に關しては
與名嶺仁五郎
Jingoro Yonamine
宛御通信ありたし

汽船代理店
弊社は北米大汽船會社『綠星線』の代理店にして同社は紐育及桑港を基點とし各國に定期航海船あり
紐育（基點）〉伊太利、佛蘭西、英國、獨逸、南米
桑港（基點）〉布哇、橫濱、神戶、上海、香港、馬尼利、新嘉坡

封筒及び名刺印刷
上等封筒百枚　六ミルレース　送料五百レース
同　百枚一組　六ミルレース　（發信用（日本へ）五十枚　（返信用（日本より）五十枚　送料五百レース
名刺百枚　六ミルレース以上　（和洋文兩面刷）　送料五百レース
同　上　五ミルレース以上　（和洋片面刷）　送料五百レース
其他の印刷物に就ては御來談又は手紙にて御照會を願ひます
伯刺西爾時報社
營業部
Caixa Postal H, S. PAULO

日本近信

●日本が獨逸に寄せる同情を 聯合國側では非難する

◇非公式で外交官に抗議して來る◇

何と言つても戰敗國ほど有ゆる意味で哀れな慘めなものはない、それを最も雄辯に物語つてゐるのは現在の獨逸ではあるまいか社會の秩序は今尚混沌としてゐる聯合國のあるものは今尚彼の國の學者の研究に迄壓迫を加へてゐると最近の電報は報じて來た斯くして獨逸を再び世界に立つことの出來ぬまでに深傷を負はせやうといふのであらう

▲平和になつた今日心ある者は慘敗の獨逸に一掬の涙を惜ぬはない就中我日本の如きその學者側、軍人側に獨逸に學んだ人が多く最も獨逸的の色彩を此の方面に傳統的に植ゑつけられて來た爲めか獨逸國に對する多くの心からの同情を持つてゐるその爲め獨逸の恩師に酬ゆる爲に醫學界の人々が熱心に救濟

▲醵金を募集してゐることは美擧として曾て報じたことであるし其他個人的に團體的に獨逸の人々を救濟しようとする企てがいろ〳〵の形式で現はれて來るその爲か佛國英國白耳義國聯合國側の一部外交團體中には日本が餘りに獨逸に對して厚い同情を表し過ぎ

▲聯合國も等しく戰後の悲慘な狀態にあるのにそれ等に對しては同情の表示が獨逸程にない、このことは日本國民の爲めに惜しむ可き態度であるとの非難をする向があり非公式ではあるが外務省の一二の人々に漏らしたと確聞する

▲政府側の所見

此の點に就いて政府側の所見を聞いて見るに『決して日本國民が聯合側より獨逸國に對して厚意を有つてゐるといふことはないけれども平和克復した以上は等しく世界人類平等に和し合はなければならぬ學者連が恩師に酬ゆる

▲義金の募集の如きも結構な企て

●日米諒解成る

東京駐劄の米國代理大使は外務省を訪問し長時間内田外相と會見し華盛頓會議に關する交渉に對する米國政府の回答を交附して懇談する處あり彼我の諒解成りたるが如く米國政府は華盛頓會議に於て極東及び太平洋問題の主義政策を樹立せん事を欲し現在の諸懸案に觸るゝ意向無きが如し又日本は同會議に臨むに先だち直接交渉を以て西比利、山東、ヤップ海底電線問題等一切の諸懸案を解決すべく豫期せられ太平洋西岸一方の問題のみを華盛頓會議にて議するに反對し墨西哥問題、濠洲問題等をも議せんとする政府の主張に對しては樞密院同樣外交調査會も同意を表したり

●把手を御手に 高度の飛行

△山階宮武彦王殿下が

横須賀海軍航空隊第六期學生として御入隊中なる山階宮武彦王殿下には昨今飛行機御操縱

▲殊の外熱達　遊ばされ七月二十三日イの九八號機を以て高度の飛行練習を行はせられ午前八時二十分奈良大尉同乘同八時五十分御着陸あらせられたり右に付市川御附武官は語つて曰く『從來飛行機の操縱は一般から危險視されつゝありしがやんごとなき御身を以て斯くの如く御操縱遊ばさるゝ云ふことは

▲誠に恐懼に堪へぬ承はるに殿下には飛行機操縱が決して危險でないと云ふことを一般社會に知らしむる思召にて其操縱には全力を注がれ給ひ他の學生と同樣至極御熱心に御練習遊ばし今では敎官學生共に舌を捲く程に御熟達遊ばして居られると』

●市疑獄豫審決定

醜類七十三名

▲聯合國も等しく戰後の悲慘な狀態にあるのにそれ等に對しては同情の表示が獨逸程にない、このことは日本國民の爲めに惜しむ可き態度であるとの非難をする向があり非公式ではあるが外務省の一二の人々に漏らしたと確聞する

▲政府側の所見

此の點に就いて政府側の所見を聞いて見るに『決して日本國民が聯合側より獨逸國に對して厚意を有つてゐるといふことはないけれども平和克復した以上は等しく世界人類平等に和し合はなければならぬ學者連が恩師に酬ゆる

▲義金の募集の如きも結構な企て

●馬來半島にて大鐵鑛發見

日本人某、馬來半島の中部に於て鐵鑛山を發見したるが同鑛の埋藏噸數は七八千萬噸以上なるべく鑛質は湖北省大冶鑛山の鐵よりも良好なるより八幡製鐵所にては直ちに十萬噸買入約契を締結したり

◇馬來半島にて大鐵鑛發見

日本人某、馬來半島の中部に於て鐵鑛山を發見したるが同鑛の埋藏噸數は七八千萬噸以上なるべく鑛質は湖北省大冶鑛山の鐵よりも良好なるより八幡製鐵所にては直ちに十萬噸買入約契を締結したり

▲中島中將列席せん

第二師團長中島中將は陸軍代表者として華府會議に列席せん

▲太平洋武備撤廢論

大阪朝日新聞は米國は布哇及びグワムに於ける武裝を撤廢すべしと論じてゐる、何となれば八八艦隊は右米國の太平洋武裝を標準とするものなるが故にこれが縮少と共に當然米國はこれが撤廢を行ふ可しと

▲林外務參事官聲明

東京電報、桑港通信（七月廿八日）

外務勅任參事官林毅陸博士は非公式に聲明して曰く『日本は中米、南米の日本移民制限問題の論議さるゝや否やを承知したし山東問題は日支間の問題にて兩國間のみにて解決さるべきものである』

▲林外務參事官聲明

外務勅任參事官林毅陸博士は非公式に聲明して曰く『日本は中米、南米の日本移民制限問題の論議さるゝや否やを承知したし山東問題は日支間の問題にて兩國間のみにて解決さるべきものである』

●日本勞働爭議

日本に於て一方勞働者と他方政府及び資本家との關係緊張せり神戸造船所罷業に對する軍隊の出動は全國の勞働者を奮起せしめたり東京の諸勞働團體は秘密集合を催して米國の勞働同盟に似たる一大勞働同盟を組織すべく計畫せり

▲東京勞働者二十萬罷業計畫

東京の勞働者約二十萬は勞働時間短縮及び賃金引上の要求承諾されざれば罷業すとの決議をなせり砲兵工廠の職工は右の罷業運動に於て重要なる位置を占めつゝあり

▲川崎造船所罷業職工敗る

川崎造船所の大罷業に於て勞働者側は團體交涉權の是認を要求して居たが、遂にストライキの結果は勞働者の敗北に歸し、罷業職工の三割は無條件にて會社に復歸再び仕事を開始し、日本の勞働運動も資本家に對抗して勞働者が其主張を貫徹する迄にはその前途極めて遼遠なるべしとは一般の批評なり

●外國郵便の値上げ

△十一月から實施か

外國郵便の値上げに就ては目下遞信省通信局で折角協議中であるが是れに就き通信局吉野外信課長は語る『萬國會議の條項を飜譯中のことであるから値上額は未だ確定して居ないが、遂にストライキの結果は勞働者の敗北に歸し、罷業職工の三割は無條件にて會社に復歸再び仕事を開始し、日本の勞働運動も資本家に對抗して勞働者が其主張を貫徹する迄にはその前途極めて遼遠なるべしとは一般の批評なり

●外國郵便の値上げ

△十一月から實施か

外國郵便の値上げに就ては目下遞信省通信局で折角協議中であるが是れに就き通信局吉野外信課長は語る『萬國會議の條項を飜譯中のことであるから値上額は未だ確定して居ないが、遂に先般來種々協議中だが容易に其の額を定めることが出來ないから七月一日から實行の豫定であつたが勢ひ延期の外ない然らば何日から値上げを實行するかと云ふに多分十一月一日からと思ふ』

四方山話

▲大金持の大臣として知られた中橋文相は齋藤海軍中將の外に今一人實弟のある事が此程分つた▲その實弟といふのは現に石川縣石川郡額村で女房を向槌に廻し朝晩トッチンカッチンとやつて居る鍛冶屋さん▲何でも或事情の下に里子にやつたのを文相母堂は弟は死んだとのみ事實を明さなかつた▲當の仁三郎は顏付なら姿なら文相そつくりで誰が見ても實弟と肯かれる世に時めく文相の實弟と知れたので大喜び▲面會に上京するといつてる相で村の人達も鼻を高くし喜んでるが弟が鍛冶屋さんと來ては文相もいさゝか外聞が惡いだらうなどゝ噂とり

●三輪參謀長戰死

△バルチザン軍襲來

昨春尼港邦人大虐殺の慘事を敢てせる過激派バルチザン軍再びニコライフスクに現はれ同地附近の鐵橋を爆發破壞し日本軍搭乘列車脫線したるに乘じてバルチザン軍先づ發砲して猛烈なる射擊を開始したれば我軍直ちに應戰し數刻に亘りて惡戰苦鬪したるも衆寡敵せず敗戰し第十一師團參謀長三輪秀一大佐戰死し他に將校一名負傷せり、列車墜落の際溺死せる將卒十三名行衞不明の卒一名あり

▲全部の印刷を終りやつと發表の運びとなつたのが四日午後、決定書に依ると贈賄者側が久米前瓦斯社長同重役若尾袴田磯部參木等を始めに都合四十名、收賄者側は前記高橋以下市議十六名を始めとし例の元警視廳保安部長熊谷、市電理事平井其他市吏員合せて三十三名である

▲昨秋の十一月十七日以來檢事五名と豫審判事三名が協力して正月の五日と紀元節當日の六日休んだのみで日曜も祭日もなく實に不眠不休決定を見るまでの日數二百數十日を要し決定謄本紙數合計一萬四千枚に達する阿部前東京府知事は熊谷を通じ五千圓の小切手を貰つたが直ぐ返したので罪にはならなかつた其他豫審免訴は一名もない

港旅館

サントス港ベー街二十四番

赤堀吟造

Rua B, F.o. 274 SANTOS

◆日本品各種
◆種子物、書籍
◆仕立洋服、刃物
◆反物、雜貨類
◆神田醬油

卸小賣

◎諸品の御注文なら安心して御取引の出來る

中矢商店

Rua Conde de Sarzedas, 65
S. PAULO

土地賣却

Heitor Legrú は外人間に一名「新日本」と稱せらるゝに至つて居る

今回賣り出す土地は停車場の前面から遠きも二キロメートルスを出でない極めて豐沃な地續である市街地向きの牧場によく果樹園によく小農業者に取つて此れ以上の好適地は他にないことを斷言しても差支ない私共こゝ志を同うして「ノロエステ」に新日本を建設せんとする同胞諸君は一日も早く視察せられんことを望む

イタコロミー殖民事務所
Estação Heitor Legrú
Linha Noroeste

上塚周平
鈴木貞次郎
坂本留三郎
間崎三一

YAMA-K. SHOKAI

Telephone Central, 1973
Rua Martim Affonso, 41
SANTOS

大阪商船會社
日本郵船會社御用達

各艦船食糧賣込業
並に農產物仲買業、生、干、鹽魚卸販賣

K合資商會事務所

南米サントス市マルチンアフォンソ街四一番
電話セントラール一九七三番

業務擔當員　岸本彦三郎
同　小淵友市
事務員　岸本京一

●インテリオールより歸聖の大統領一行

グワタバラ耕地に數日を過ごされリヌンガへ向ひ騎兵第二聯隊の檢閲を終へて夜十一時半歸聖昨一日朝八時ベロンブレト市民の歡迎會に臨席されたる大統領ベソア氏、州統領ルイス氏及び其一行は廿七日午後五時半同地を特別列車にて出發沿線各驛にて民衆歡呼の聲に送り迎へられバルデアソンにて汽車を乘替へ廿八日午前五時五十分ルス驛着、來聖中の陸軍長官カロヂエラス氏、州政府各長官、市長、ロンドン將軍其他多數官民に迎へられ州政府差廻しの馬車にてコンデブラテス氏邸に向はれたり同日正午大統領は宿舍なるブラテス邸に於て晝餐會を開き伯國農會長モライス、バロス氏及副會長幹事を招待して歡談せられ午後三時ノルテ驛なる中央鐵道倉庫落成式に臨席一場の演說を爲し午後三時五十三分ソロカバナ驛を特別列車にて出發四時半官フェレイラ、シャーベス氏又海軍長官にはバイア州選出下院議員オッタビオ、マンガベイラ氏任命せらるべしとの噂高し

●長官交迭

先般物故したる大審院判事レッサ博士の後任として現司法兼内務長官アルフレッドビント氏其後任に補せられたるがビント氏の跡には現海軍長官の認むる處となりて參謀本部につとめ、少將に進むや砲工學校長に補せられ、フオンセカ元帥大統領に選ばるゝや拔擢せられてリオ市長となり成績大いに揚がる後中將に昇進し參謀總長に補せられ次いで大將元帥に累進し數月前現陸軍長官カロヂエラス氏と議合はずして參謀總長を辭して閑地に就きたる程の硬骨者なるが今此の人逝し伯國の爲め惜むべし

●アルメイダ教授逝く

リオ法科大學教授フエルナンド、メンデス、アルメイダ氏は去る二十六日午前三時半自宅に於て腦溢血のため急死したり氏はマラニオン州出身にして曾つて同州選出上院議員たり又伯國大新聞『ジョルナル、ド、ブラジル』に主筆たりし事あり法科大學教授の外高等教育會議委員たりき尙氏は日本の勳章の外伊、葡、白等の勳章を所持し居たり

●ビンセンソ博士

伊太利レヂア大學教授にして羅馬合同病院醫員たるビンセンソ博士は伯國移民問題研究の爲先月廿七日リオに到着したり

博士は今回の來伯を機として伊伯兩國醫科大學の交換教授に關しても實施方法研究の筈にて追てサンパウロにも來訪すべし

●葡國と紀念博覽會

葡萄牙國に於ては來年の伯國獨立祭紀念博覽會參加に付出品經費として二、五〇〇、〇〇〇ミルレースを同國商務長官より議會に要求したり

歡送迎會

●盛大なりし

豫報の如く日本倶樂部の歡迎兼送別會は去月三十日午後七時から部内大廣間に於て開かれたるが此の日は海外興業重役龍江義信氏と日本貿易重役山本正子郎氏を迎へ併せて藤崎商會員鈴木正雄氏を送らんが爲めの催ふしであつたから殆ど部員總出席と云ふ盛況で席定まるや山田幹事の開會の挨拶にて幕が明き三氏の爲めに乾盃して酒宴に移るや龍江氏先づ立ち海外興業重役龍江義信氏は第二次地方視察として明三日當地出發先づノロエステ沿線を視察して後ソロカバナ線に轉じプレジョン、バイベン方面をも視察せらるゝ都合にて其日子は二週間の豫定なりと

●山本重役來聖

日本貿易會社重役山本正子郎氏は去月三十日朝ブエノスアイレスより來聖されたるが當地の用務明三日にて切り上げ四日リオに向け出發せらるるとの事

●龍江重役地方行き

●山田氏宅の小宴

海外興業の山田氏宅にては日下當地滯留の山本正子郎氏を主賓として知己十餘名を招待し小宴を張られたり

●露國送還移民

聖州各地兵營檢閲のため十七日來聖の陸軍長官バンヂア、カルヂエラス氏は廿八日大統領と共にオザスコに赴き新兵舍礎石數設式に列し三十日朝自動車にてサントスへ下り各地兵營を檢閲し夜は市會催しの歡迎會に臨み三十一日朝同地發九時半聖市着直ちにバウリスタ線列車にてピラシ

●陸軍長官

●秘露便り

秘露共和國獨立百年祭特派大使西源四郎氏は七月十八日東洋汽船會社汽船靜洋丸にて無事來着せられたりカイヤオ埠頭は出迎への日本人並に當國接伴官の面々にて非常な賑ひを呈し恰も伊太利軍艦も其大使を乘せ入港したる折とて秘露軍艦よりの祝砲殷々たる中に二個の飛行機亦或は低く靜洋丸と伊國軍艦との周圍を幾度となく飛翔して歡迎の意を表したり、大使は接伴官ライガータ並に外交官補アランブルー、ロサ兩氏の案内にて政府を訪問し大統領レギア氏に謁し日本帝國皇帝の國書を捧呈したり、尙百年祭擧式は二十四日に始まり三十一日終了の豫定なりしが亞國軍艦及び使節來着遲延の爲二十六日サンマルチン銅像除幕式に始まり以下順延八月三日までをフエスタ期間と變更されたり

●憶リベイロ元帥

元帥陸軍大將ベント、リベイロ氏は去月廿八日午後八時突然心臟痲痺を起して自邸に逝けり行年六十五歳、役中山本正子郎氏を迎へ併せて藤崎商會員鈴木正雄氏を送らんが爲めの催ふしであつたから殆ど部員總出席と云ふ盛況で席定まるや山田幹事の開會の挨拶にて幕が明き三氏の爲めに乾盃して酒宴に移るや龍江氏先づ立ち海外興業重役龍江義信氏は第二次地方視察として明三日當地出發先づノロエステ沿線を視察して後ソロカバナ線に轉じプレジョン、バイベン方面をも視察せらるゝ都合にて其日子は二週間の豫定なりと

●山本重役來聖

日本貿易會社重役山本正子郎氏は去月三十日朝ブエノスアイレスより來聖されたるが當地の用務明三日にて切り上げ四日リオに向け出發せらるるとの事

●山田氏宅の小宴

海外興業の山田氏宅にては日下當地滯留の山本正子郎氏を主賓として知己十餘名を招待し小宴を張られたり

●露國送還移民

聖州各地兵營檢閲のため十七日來聖の陸軍長官バンヂア、カルヂエラス氏は廿八日大統領と共にオザスコに赴き新兵舍礎石數設式に列し三十日朝自動車にてサントスへ下り各地兵營を檢閲し夜は市會催しの歡迎會に臨み三十一日朝同地發九時半聖市着直ちにバウリスタ線列車にてピラシ

●驛名改稱

上塚殖民地への下車驛たるノロエステ線エイトル、レグルー驛は今度プロミツソン驛(Estação Promissão)に改名し交通長官の許可を得たり因にプロミツソンとは見込又は有望の意味なれば同殖民地にとつては大いに慶すべき改名なり

●日本船抑留

伊國ナポリよりの電報に依れば『キクノ』丸と稱する日本汽船の船員が同港碇泊の外國船へコカイナを密賣したる事發覺し水上警察署より出帆を停止されたりと

●小學校へ寄附

大正小學校へ左記の兩氏より頭書の金額寄附ありたりと

金百ミルレース　藤崎三郎助氏
金廿ミルレース　柴山幸重氏

●瀬木中矢兩商店の小宴

瀬木、中矢兩商店と木藤商會との間に係爭中の謂ゆる『ライオン』事件は去月原告木藤商會の敗訴となり十ケ月の長きに亘る同胞間の忌はしい問題も爰に落着を告げたりとて勝訴側の瀬木、中矢兩商店は昨日午後六時日本倶樂部に小宴を開き豫て同情を被れる人々を招待し是までの經過を報告したりと

●運動界●

◆ミカド又大敗　去月廿七日の對米人野球團との仕合は十八對三にてミカド又もや大敗せり

◆庭球大會　ミカドの庭球大會は去月廿八日倶樂部コートにて開催、白優退二組を殘して勝ちたるが應援盛んにて盛會なりき

◆アルモールとの仕合　アルモール會社對ミカド野球戰は來る七日午後二時半よりラッパの會社運動場にて歐洲へ送還されたるランゲル將軍(電車終點より約十分)にて擧行の筈選手並に部員は午後一時シテマセントラル前に集合電車に乘るべしと

◆ミカドのピクニック　ミカド主催にて四日サントスへピクニックを行ふ午前六時一番汽車にて出發、會費十ミル辨當持參、部員外の參加も歡迎すと

●スザノの一小村

イグアペ植民地からスザノに所換へせる柳澤氏の通信に依れば此の地方も段々眼を着くることゝなり春の青草が地上を飾る昨今では靜岡縣の萩原治平氏、山口縣の西岡隆一氏、愛媛縣の大島氏、沖繩縣の新城氏外一家族計六家族が居住して一小村を形作れるが去る二十日には西岡氏宅に男子出生擧つて命名し此處中央線の沿りにも赤子の聲を聞くに及べりと

大正小學校(校舍新設費寄附者芳名并に金額)(第四回)

金百ミル　隈元維高殿
同　松山三太郎殿
金六十ミル　坂井長一殿
同　渡邊謙松殿
金五十ミル　上利山三郎殿
同　當房與平殿
同　谷口幸一殿
同　藤井原猪助殿
金三十ミル　西村仁太郎殿
同　吉部五郎殿
金二十ミル　輕谷崎米太郎殿
同　廣瀬光寛殿
金十ミル　西江八郎殿
同　守屋敬太郎殿
同　柳初熊殿
計六百六十ミルレース
累計九コントス五百三十五ミルレース

大正十年九月二日
大正小學校後援會々計
岡本龍太郎
山田隆次

下男入用

當市在住英人(葡語を解す)宅に日本人下男一名入用希望の方は左記に申込まれたし條件等は相談の上定む

大正十年九月一日
海外興業株式會社伯國支店
リベロン プレート 出張所

旅館

拜啓各位益々御清榮之段奉慶賀候陳者私儀柿内旅館を引受候てより既に一ケ年を經過致候處未だ御披露も不申上失禮仕居候就ては今般一週年紀念を機し設備に一層の改良を加へ益々實直叮嚀以て各位の御便利を圖り候間不相變御引立被下度茲に御披露を兼ねて御願申上候　敬具

大正十年八月
アラクワラ線カタンヅーバ町
バライバ街角(柿内旅館跡)
氏原彦馬
Caixa Postal, 77
Est. Catanduva
L. Araraquarense

Liquidação Geral
Casa Victoria

Rua da Liberdade Nos. 45-47-49
Telephone, Central 4076 ... S. Paulo

改築に付大安賣

◇總て平生の半値段です◇
薄縮緬、繻子、デヨルヂエッテ、支那縮緬、其他絹物類各種

カーザ、ビットーリア

羅紗、毛織各種、結婚式服地、其他各種の反物何でもあります

◇是非一度御立寄下さい◇

◆物子種◆

此機會を逸せず至急御注文下されたし
九月十日頃發賣開始!!

時無大根、聖護大根、山東菜、小松菜、大王蕪、聖護院蕪、方領大根、東京大長牛旁、時無蕪、早出夏大根、東京大越瓜、櫻島大根、ホーレン草、珠チサ、宮重大根、朝鮮白菜、三河島菜、杓子菜、東京大長人參、筋成胡瓜、青大胡瓜、縮緬南瓜、支那三尺茄子、シユンギク、東京根深葱、大青越瓜、大王白菜、大形西瓜、サンショウ、レボーユ

定價一袋一ミルレース均一送料各袋百レース宛
新刊雜誌到着

直輸入商
瀬木商店
Y. SEGUI Caixa, 1771 S. Paulo
◇神田醬油取次販賣所
コンデ、デ、サルセーダス街四九番
電話　セントラール　三八三六番

2 de Setembro de 1921 No. 204　Noticias do Brazil　大正十年九月二日　金曜日　第二百四號

大石内藏之助

三十二

半井桃水

『ハヽヽ、名こそ士の端くれでも己がお旦那の供する時は、かッつく這はん一時まへ、假令仲間でも大所の犬、己が一聲吠付くと、三平でも四平でも、腰を脫かして了ふばかりだ』

『へヽ、夫に何だ、士の女房が聞いて呆れる、そんな事を言はうより、素直に送つて貰ふ方が、御亭主の爲めにも好いせ』

『是さ〳〵、左樣つけんしなさんな、抱て寢ようと言ふぢやアなし、せめて酒の酌でも、賴んで、好い氣持に醉ひてえのだ、夫とも士風を吹かして、惡うすねりや、仕方がねえ己も大野の傳六た、引さらつて女房にする』とまた執る手を拂退け

『柔弱い女と侮つて、無禮をすると許しませぬぞ』

『ナニ許しませんぞ、此奴ア面白えそつちで許してくれてもな、此方はなか〳〵許されません、ハヽヽ、オイ岡林の三太、今の話を聞いたかい、無禮をした己を捕へて、何處ぞ此の邊の飮屋へ連込み、ササ酒責めにして下さるさうだ』

『其奴ア迷惑な事ながら、お士の奧樣が許さぬとありやア仕方がねえ、宜しくお賴み申さうぢやアねえか』

『良人の使に行つた歸途、暇取つては用事の手違ひ、其處退いて貰ひませう』

＊　＊　＊

『否だ〳〵、退く事アならねえ、ヘンロはゞつてえ言分だが、大野の傳六と言はれちやア、何な立派な士でも、避て通す暴れ者だ、吹きア飛ぶ木ッ葉士、己が口のたゝきやうでは明日からでも扶持の食あげ』

『其處を素直にいふ事聞いて、酌の一つもして置くと、お旦那に申上げ御加增位何でもねえのだ、斯う言出したら退かねえ兄哥、しのごのいふ程其方の損だ』

『どても素直に諾とアいふめへ、それ引擔げ』

『オット合點』

左右均しく飛つたかと思ふと、二人の仲間はもんどり打て、三間ばかり投飛ばされた。

『アー痛え、痛え、女と思つて油斷する間に、どえれえ事をしやがつたな』

『汝何するか覺えて居ろ』

『兩人腰をさすりながら、起上つて喫驚仰天』

『オヤ、いつの間にやら訴しな奴が天から降たか、地から涌たか』

『ヤイ、さんぴん、汝ひどい目に遭はしやがつたな、サアもう勘辨はならねえぞ』

數右衞門は笠おしやつて打笑ひ、

『そちらで勘辨致しても、此方で勘辨まかりならぬ』

『何だ、勘辨ならねえ、大野の傳六を見違へたか』

『見違へぬゆゑ勘辨ならぬ、貴樣の主人の九郎兵衞に、立歸つて左樣申せ、おつつけ貴公も下郎同樣、成敗致してくれるであらうと』

『左樣いふ汝は全體誰だ』

『不破數右衞門正種ぢや』

『ヤ、ヽヽ、』

斯と聞いた二人の下郎はぶる〳〵と慄へあがり、一目散に逃出し掛けたが、數右衞門は透かさず飛掛り襟首摑んで引戻した。

『虎の威を借る野狐奴等、その虎からして氣に喰はぬ、行がけの駄賃、退治したいと存じたが、此の度までは許し置く、汝等も踏殺してくれたいが、命ばかりは助けてとらせる、此の後無禮を致すに於ては、打殺すから左樣心得え』と松の根がたに引立てて行き、二人が顏を荒皮に摺付け〳〵摺つぶす。

『謝りました、お助け〳〵』と、悲鳴をあげる其の中に、鼻も額も頰べたも、肉破れ骨挫けて、石榴を二つに割た有樣。

『サア是で好い、早く歸つて九郎兵衞にも、李之助にも物語れ』と突放せば泣きながら、夢中になつて逃出した。

『茅野氏の御內室か、惡い奴等にお出會なされた、さりながら彼程に懲して置けば、重ねて無禮も致すまい拙者お送り申したいが、實は夜の明け前、御領內を立去る所存、もはや、是にてお別れ申す、茅野氏御兄弟へ宜しく御傳へ下されう』

『數右衞門樣で御座りましたか。好い處でお目に掛り、危い處を助かりまして、お禮は申盡されませぬ』

『その御挨拶には及ばぬこと、拙者之は雪に男の側から觀ても結婚は人ではなく女の方から觀ても結婚は人生禍福の分れ目であると共に惡夫は一生の不作だとか申しますが、ですから女へば九郎兵衞等の致した事、此の儘に立去つては何うやら物足らぬと存じた處へ、下郎に逢うたはもつけの僥倖、是で氣分がすが〳〵致した』

數右衞門は別れを告げ、二十日月の影を踏みつゝ、足早に立去つた。是は今から三年前の事。

＊　＊　＊

主稅は父の前に小腰屈めて、

『不破數右衞門殿、無禮のお詫び申上げ、父上お對面下さるやうと、强ての願ひに御座ります』

『あの服裝で對面は相叶はぬ』

『私衣服を貸し與へまして御座りまする』

『數右衞門酒氣はないか』

『先年當地を立退いた以來、酒は一滴も口に着けぬと申し居られます』

『然らば對面致すであらう、是へと申せ』

主稅は領承して此處を立退り、やがてまた數右衞門を導いた。

『主稅は暫時遠慮致せ』

數右衞門は打悄れつゝ座に着いて

『此の度の御凶變、口惜しう存ずる餘り、前後の思慮もなく無禮の段は幾重にも、お許し下し置かれませう』と大地に額摺付けんばかり、謝り入つた體を見て、

『前年の誓ひを忘れず、騙付けられた心底、流石武士の精神、內藏之助感心致した、さりながら何事も辨へもなく、徒らに武勇を賴んで、是れ見よがしの擧動は、返すゝも片腹痛い、まこと亡君の殊恩に感じて一命擲つ心なら、お家のお爲め亡君のお爲め、忍び難い事をも忍んで時節待たれねば相ならぬ、今拙者の申す處は、取りも直さず亡君のお言葉』

婦人欄

一生の不作

きよ子

●愛なき結婚は

◆結婚は人生禍福の分れ目だとか、惡妻は一生の不作だとか申しますが之は實に男の側から觀ても結婚は人ではなく女の方から觀ても結婚は人生禍福の分れ目であると共に惡夫は一生の不作だとか申しますが、ですから女も年頃に及んで結婚しやうと思ふ場合は、能く相手方の人と爲りを見定める必要があります。

◆而して之を爲すには、或る期間清い純なる交際を爲すが唯一無二の方法であつて、若し其間に相手方の人と爲りを見定め得ないと思はゞ綺麗に交際を絕つて他に自分の配偶者に適する者を見出さねばならぬのであります、所が間違つた舊習から未だ脫し得ない日本女は、男の前へ出れば唯だ徒らに恥かしがり、碌々口一つ開き得ず して遂に無條件降伏をする者の少なくないのは甚だ遺憾な事であります

◆愛は結婚に依つて生じ、小供は愛の結晶だとは日本人の結婚に對する解釋でありましたが、實は此の解釋は壓制と愛情とを混同した觀方で、小供を抱き結婚を呪ふの女も事實少なくないのであります、所母兄姉たる者は、此の意味に於ての若き男女の交際を許すべく理解して貰ひたいものであります。

◆所が伯國に於ける同胞社界は何うした風の吹き廻はしか、自分の娘や妹を人身賣買に等しい遺方をして、筋道の正しい相愛の當事者から結婚を求めて來ても、或る額の金を出さねば娘を遣らぬと頑張つたり、娘の嫌う男に義理づくの結婚を强ゐたりする者の少なくないのは、如何に沒分曉者の所業だと云つても、文明の此の世の中には存在を許し難き野蠻

●購讀料御催促

各位益々御淸祥奉大賀候陳ば弊社今般事務整理の都合上購讀料未納者並に前金切者に對し此際大至急料金御拂込願度候間甚だ御手數には候得共右事情御諒察の上御送金被成下度願上候

▲購讀料率

壹ヶ月　壹ミル五百レース
六ヶ月　九ミルレース
壹ヶ年　拾八ミルレース

但し前金に限り▲六ヶ月八ミルレース▲壹ヶ年拾五ミルレースに割引致候

▲字に外國送りは壹ヶ年前金二十ミルレースに候間續々御注文被下度候
▲新購讀は前金に非ざれば取扱不申候間御注文の際は必ず料金を添へ御申込み被下度候

伯剌西爾時報社

NOTICIAS DO BRAZIL
Caixa Postal, H
S. PAULO

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

キリトリテ、テガミノ、オモテニ、ハラルベシ

リオ・デ・ジヤネイロ
横濱正金銀行支店

鄉里送金

一、日本金に引直相場は當分佰貨四ミル一百レースにつき日本金壹圓

二、日本內地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御鄉里の受取人へ送り屆け申上候

三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ橫濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候

四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく候

預金

日本貨定期預金利息　六ヶ月以上　年五分二厘
伯貨定期預金利息　六ヶ月以上　年五分五厘
伯貨當座預金（小口）　壹ヶ年以上　年六分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候

◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA : OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社定期船

●タコマ丸

七月二日神戸發
九月十一日サントス着豫定

御用の方は左記へ御照會ありたし

アンツーネス、ドス、
サントス會社
(Caixa Postal, 237)
Rua Jose Bonifacio 17, S. Paulo